



学生と教職員が協働する学内防災2019

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-01-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 伊藤, 康人 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/00016707

掲載された資料について

ここに掲載された資料は、大阪府立大学の地域防災センターが取り組んでいる「学生と教職員が協働する学内の防災・減災活動」に関する 2019 年度の成果を纏めたものです。それは、大きく2つに分けられます。学生が自然災害と防災について考える科目として、地域再生副専攻の「地域活動演習」があります。その受講生らが議論しながら仕上げた 10 か月にわたる活動の最終報告が「地域活動演習レポート_A 班」と「地域活動演習レポート_B 班」です。今年度は、普段の備えに着目しキャンパス内の幾つかの学舎について学生が分担して聞き取り調査を行いました。そのレポートと大阪府大施設課から提供いただいた情報を編集して「聞き取り調査」ファイルを作成しました。11 月 6 日に実施された全学一斉防災避難訓練で、防災センター研究員の佐藤鋭一先生が体験を綴った物が「防災訓練体験記」、訓練時に活躍したマニュアル「布担架使用法」は、高等教育推進機構の吉井泉先生が監修・作成されました。大学の中に限っても、スムーズな災害対応を行うにはまだまだ改善すべき点がありますし、掲載した資料の完成度についても決して高いとは言えない部分が残っております。しかし、より良いシステムを作っていくための道標として、地道な努力を記録しておきたいと思います。

2020 年 1 月 23 日
伊藤康人